

「iStudy 英語世界の現場から」は、株式会社システム・テクノロジー・アイがお届けします。

発行：毎月1回、最終週の水曜日に配信

このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。
送信元のアドレスへご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。
本メールに関するお問い合わせは、info@istudy.ne.jp までお願いします。

■ □ ----- ■ □
□ 第25号(2009年5月号)
■ メルマガ「iStudy 英語世界の現場から」
□ <http://www.istudy.ne.jp/common/Nativeworld/index.html>
■ □ ----- □ ■

==== ◆ 目次 ◆ =====

- [1] はじめに
- [2] 注目情報！ iStudy Native World セット商品のご案内
- [3] Essay 「連想ゲーム」by 田崎 清忠
- [4] Essay ケイのEnglish SHOW-room「英語で早口ことばを！」by 北田 敬子
- [5] Essay マリのアメリカ風物点描「バナナスプリッツ」by ウィリアムズ真理
- [6] 教育者の皆様へ Native Worldの利用現場から～
- [7] 編集後記

■ □ ----- ■ □
[1] はじめに
■ □ -----

沖縄地方は既に梅雨に入りましたが、6月上旬頃までには各地平年通りの梅雨入りと予想されているようです。

しばらくは、蒸し蒸しジメジメの雨がやってきますが、気持ちはカラッとしていたいですね。

==== [2] 注 | 目 | 情 | 報 | ! | iStudy Native World セット商品のご案内

音声認識&実写映像を利用し、ネイティブスピーカーと「疑似フリートーキング」で生きた英会話を習得できる、iStudy Native World。

海外渡航編、ビジネス会話編などをシーンに合わせてセットにしました。購入をお考えの方は、ぜひ、お得なセット商品をお買い求め下さい！

・iStudy Native World V3 入門セット
(海外渡航編 日常会話編I はじめての英会話 専用マイク付)
<http://secure.istudy.ne.jp/index.asp?appl=shohin2.asp&Shocd=T11011>

・iStudy Native World V3 中級セット
(身近な英会話 日常会話編II 電話編 専用マイク付)
<http://secure.istudy.ne.jp/index.asp?appl=shohin2.asp&Shocd=T11012>

・iStudy Native World V3 日常会話セット
(日常会話編I 日常会話編II 休日をエンジョイ編 専用マイク付)
<http://secure.istudy.ne.jp/index.asp?appl=shohin2.asp&Shocd=T11013>

・iStudy Native World V3 ビジネス入門セットI
(ビジネス会話(国内)編 ビジネス会話(海外)編 海外赴任編 専用マイク付)
<http://secure.istudy.ne.jp/index.asp?appl=shohin2.asp&Shocd=T11014>

・iStudy Native World V3 ビジネス入門セットII
(ビジネス会話(国内)編 ビジネス会話(海外)編 電話編 専用マイク付)
<http://secure.istudy.ne.jp/index.asp?appl=shohin2.asp&Shocd=T11015>

■ □ ----- [3] Essay 「連想ゲーム」

<著者略歴> 田崎 清忠
前・東京純心女子大学学長、横浜国立大学名誉教授。専門は「英語教授法」と「地域研究・アメリカ」。英語会話教育の草分け的存在で、NHKテレビ英語会話講師を16年間務め、放送文化基金賞を受賞。

“May I help you?”という英語を聞いたら、どんな場面を連想しますか。そう、お店に買い物に入ったお客に対して店員が声をかけている場面です。英語を聞いたり読んだりしたとき、日本語で意味を考える前に、その英語が使われている場面や状況を思い浮かべられるようになれば、あなたの英語は「生きた英語」になったと言えます。今日はちょっとしたゲーム、下の英語を見てどんな場面を連想するか、あなたの英語力チェックです。

1. "Hi, Mom!"
こりゃ難しい。答は、テレビなどの中継現場です。レポーターがカメラに向かって話していると、その後ろに現れるのが野次馬。レポーターの背中越しにカメラに手を振って言う決まり文句がこれ。「お母さん、こんにちは」と訳しても無意味。「ママ、ボクここにいるよ！」が正解です。

2. "One, two, shoot!"
こどもがじゃんけんをしている場面を思い出せればOK。「イチ、ニ」と言って「シュート」で指を1本か2本突き出します。あらかじめ奇数(odd numbers)か偶数(even numbers)でどちらが勝つと決めておき、二人が出した指の本数を合計して勝ち負けを決めます。

3. "1, 2, 3, 4, testing!"
日本の運動会。先生や父母、それに係の上級生達はみんなよりも早めに登校してテントの設営をします。放送担当の先生はマイクのテスト。そして決まり文句。「ア、ア、ア、本日は晴天なり」。
これが英語だと"One, two, three, four, testing!"となるんですねア。

4. "Down the hatch!"
パーティなどでの乾杯シーンはお馴染み。「カンパニー！」は"Cheers!"で、これはご存知でしょう。"To your health!"(健康を祈って乾杯!)などのバリエーションはありますが、ただ「乾杯！」という場合の変化形の一つがこれです。潜水艦の甲板から艦内への出入り口みたいのをhatchというので、"Down the hatch!"は、「ハッチから一気に流し込め！」という意味になります。

5. "Sit! Roll over!"
ワンちゃんの訓練風景を思い浮かべていただければ合格です。Roll overは、ひっくりかえってゴロゴロ転がるという意味。但し、日本人は「スイ[si]」を「シ[shi]」と発音する傾向があるので、くれぐれもご注意を。"Sit!"は「お座り！」ですが、"Shit!"は「ウンチをしろ！」となります。

6. "I'll be back."
相手がこう言ったら単にうなずくか、あるいは軽く"Okay."と返事します。会話中にトイレに行きたくなった人が使う表現。
"Excuse me."(ちよつと失礼)と言う人もいます。
"Where are you going?"(どちらへ)などというstupid question(阿呆な質問)はしないこと。

7. "Don't go away!"
テレビで使われる決まり文句です。「それではここでコマーシャルです」というせりふと一緒に、「CMが終わればまたすぐ続きをやりますから、テレビの前を離れないでください」という意味。

というわけで、今日からは英語を聞いたり見たりしたら、それがどのような言語環境(linguistic situations)で使われているのかつかみ取る練習を始めてみてはいかがでしょう。「すぐ日本語に訳す」という好ましくないクセを直すよい方法のひとつです。
では、また来月。Don't go away!

■ □ ————— [4] Essay ケイのEnglish SHOW-room 「英語で早口ことばを！」

<著者略歴> 北田 敬子
東洋学園大学・現代経営学部教授。東京女子大学英文科卒業後、東京都立大学修士課程英文学専攻修了。バージニア大学教育学部にて在外研究。専門は英文学、英語教育言語コミュニケーション。

■ □ —————
子どもの頃好きだった遊びの一つに「早口ことば」があります。定番の「生麦生米生卵」、「隣の客はよく柿食う客だ」、また「東京特許許可局」などを競い合ったものです。早口ことばは、つかえずに音を出せるかどうか勝負ですが、やはり先ず意味で覚えたのでしょう。
とすると、英語の早口ことばでも「正しく意味をつかむこと」が欠かせません。

なんと言っても有名な英語の早口ことばは、"Peter Piper"でしょう。
Peter Piper picked a peck of pickled pepper;
A peck of pickled pepper Peter Piper picked;
If Peter Piper picked a peck of pickled pepper,
Where's the peck of pickled pepper Peter Piper picked?

Pの音のオンパレードですが「変奏」の手伝いをしているのは、倒置とif節、そしてWhereで始まる疑問文だけで、基本は同じことばの繰り返しです。ある日教室で一人の学生が慎重に考えながらこの文章を読み、一回で暗唱してみせました。スピードを出す前に、先ずは基本操作を確認という感じで、急がば回れのお手本のようでした。

"Betty Botter"も構造は似ています。練り粉にバターを入れてパンを焼く娘の話です。

Betty Botter bought some butter/ But, she said, the butter's bitter.
とても長いので中は省略しますが、お終いでは、
So t' was better Betty Botter bought a bit of better butter.

となり、BとTの音を存分に響かせて、ベティさんがちよっぴり上等のバターを買ったのは賢かったと言う結論になります。

この早口ことばは子音のみならず、butter, batter, bitter, better, (ついでにBotter)の母音の違いも言い分けなくてはならないので、Peter Piperより上級でしょう。意味の上でも、こちらの方が少し複雑です。仮主語を理解できなくてはなりません。でも、先に早口ことばを言えるようになっていたら、仮主語を使う文章なんて難しくない、と考えることも出来るかも知れません。英語圏の子どもたちはそもそも小難しい文法など習うより前に、こんなことば遊びをしているのですから。

けれども、意味よりもっと難しいのは、もちろん似た音を続けざまに発音することです。

She sells sea shells by the sea shore.
The shells she sells are surely seashells.
So if she sells shells on the seashore,
I'm sure she sells seashore shells.

Sとshの音は普通の文章中にあっても、私達にとっては言い分けの難しいものですが、わざとこうして並べられては意味を理解できてもあまり助けにはなりません。これは急いで言うより、海辺で貝殻を売る少女を思い浮かべながら、ゆったりと正確に発音する方が気持ち良いかも知れません。日本語でこれに匹敵するとしたら、「瓜売りが瓜売りに来て瓜売り帰る瓜売りの声」でしょうか。

もっとも日本語の場合は、子音の発音ではなく、高低のアクセントの付け方で意味が決定されますから、使う技術はかなり異なりますが。いずれにしても、声に出すことで俄然命を吹き込まれることばは呪文だけではないようです。英語学習も、童心に返るとなかなか楽しい遊びがいっぱい。

■ □ [5] Essay マリのアメ리카風物点描 「バナナスプリッツ」

<著者略歴> ウイリアムズ真理(米マイアミ在住)
パリ留学後結婚を機に1998年よりアメリカ在住。現在マイアミ大学でフランス語と日本語を教えるかたわら、博士論文執筆中。
ご主人はアメリカ人で、モダンジャズ作曲家。

すっかり真夏のマイアミです。夜になっても気温が下がらないので、つつい行ってしまうのがアイスクリーム屋さん。いろんなお店があるので迷います。

ショッピングモールによく入っているのは、おなじみハーゲンダッツとヴァーモント州に本拠があるBen and Jerry's。後者はアメリカ発だけあって濃厚です。定番はvanilla, chocolate, cookie & creamやピーカンナッツの入ったButter Pecanなど。
“Some more” (もっと!) がなまってつけられたS' more (スモア) はマシュマロやグラハムクラッカーが入ったチョコアイス。

変わったネーミングのアイスもたくさんあります。ブルーベリーとブラックベリーがたくさん入ったBerried Treasure (Buried Treasure - 「埋められた財宝」のもじり) や、バニラベースにキャラメルなどが入ったAmericone Dream (「アメリカンドリーム」のもじり)。
Karamel Sutra (「カーマ・ストラ」- 古代インドの愛の経典 - のもじり) や Turtle Soup (亀のスープ) なんていう怪しげなものもあり、選ぶのに勇気がいらいます。

マイアミには町中にも小さなアイスクリーム屋がたくさんあり、一番ポピュラーなチェーン店がDairy Queen。1940年、イリノイ州に最初の店が開店し、その後全米展開したこの店はテイクアウトのみでアイスクリームやシェイクがメインですが、ホットドックやハンバーガーもあるので、軽いランチには最適です。

日本でも有名になったCold Stone Creameryは、アイスクリームにナッツやチョコなどを混ぜて、冷たい石の上でたたいてミックスアイスを作るというものですが、ここはいつも長蛇の列。サイズが大きいので買うのに覚悟がいらいます。

夫ダンと私がよく行くのはローカルな店Walls。店の前のパティオでは60年代のロックが流れ、old fashioned ice cream parlor (昔ながらのアイスクリームパーラー) と言われるだけあって、手作りの味が人気です。でも子供に一番人気のフレーバーはその名も “the outrageous super hero with dirt and worms (ふらちなスーパーヒーローと泥とよろによろ虫)”。原色のアイスに、虫のように見えるグミつき。ペット犬用のアイスまであって夜の散歩に最適。いつも深夜までにぎわっています。

一方、毎日夕方6時ごろになるとやってくるのが、ice cream truck (アイスクリームトラック)。20秒間隔で繰り返されるchime (鐘のような音楽) は、うちの近所では映画「スティング」の“The Entertainer”を使っています。

【法人向けiStudy OnDemandサービスをご利用のお客様】
学習管理者様へご連絡頂き、ユーザ管理機能からメールマガジン配信の有無
を変更いただきます様お願い致します。

<<お問い合わせについての注意>>
このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。
送信元のアドレスへご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。
本メールに関するお問い合わせは、info@istudy.ne.jp までお願いします。



Copyright(C)2007-2009 System Technology-i co,Ltd. All Rights Reserved.
本文の転載・コピー等は禁止させていただいております。